

## なぜ挨拶をした方が良いのか

(社)日本 ITF テコンドー協会 理事長 岸玄二

皆さんおはようございます。

皆さんは挨拶できますか？出来る人は手を挙げてください。

では相手が無視してきたら次も挨拶できますか？

今日はなぜ挨拶をした方が良いのかについてお話させていただきます。

挨拶というものはいわゆる”習慣”というものです。

ではこの習慣が何を人間の作りあげるのか、それを知っておく必要があります。これは自分では気付きません。誰かに教わる必要があります。

”習慣”が作り上げるものは”考え方”です。

ここからは簡単です。”考え方”を元に人は行動をします。そしてその行動が人生を作っていきます。

お伝えしたいことは毎日の何気ない習慣が実は人生に深く影響を与えているということです。

”考え方”について少しご説明しますと、例えば一つ嫌な出来事があったとします。

その時に『くっそ～、あの野郎』と思うのか『自分にもダメなところがあったと思うので今後は直そう』と思うのかの違いです。どちらの考え方が良いかは説明の必要は無いかと思えます。

我々は道場にて正しい行い、整った行いを繰り返すことでそういった心を身に付けていくことを習慣としています。私の言葉で言えば”行いには心が伴う”と言います。

最も大切な人間の土台となる部分を習慣を通して身に付けて行くという事です。

『いやいや岸先生、学歴や良い就職先に就職する方が大事でしょう』という意見もあると思います。仰る通りです。能力は非常に重要です。それを得るために人は努力をします。

しかしお伝えしたいことは人生には良い時もあれば上手くいかない時もあるということです。常に調子が良い人などいません。必ず上手くいかない時が来ます。

そういった時にどう物事を考え、行動していくかでその人の成長は変わってきます。

能力に優れた人でも人間の土台の部分が乏しいがために一度二度の不具合で前向きになれない、立ち上がれない、ややもすれば潰れて行ってしまう、私などまだまだ若造なのですが心のあり方とその人の変化に目を向けるようになってからは心の在り方がそのまま人生に反映されていくことに気がきます。

なので良い就職先に就職したり、何かに成功したり、しかしそれはその時だけのことで長い目線を見た時にやはりなるようになっていくと思います。そして心のあり方が現実世界に映しだされるまでに10年ほどかかると思っています。

今日一日の習慣が10年後の自分を作り上げているという事が言えます。

その自分というものが段位が上がれば、役職が上がれば成功なのかと言えそうではありません。人間として一番大切なことは自分以外の人とどのように繋がっているかという事です。例え9段になったとしても、会社組織において高い役職に付いたとしても周囲の方から信頼されていないのでは意味がありません。決して幸せではないと思います。

冒頭の話に戻りますが、皆さんに相手に無視されても挨拶が出来ますか？と伺いました。大切なことは自分か良い時も上手くいかない時も続けることです。挨拶にあっては体調が悪い時や、周りの人が挨拶をしていない時などがそれに当たります。そういった時でも明るく挨拶が出来るかどうかということです。

決して押し付けようとは思いません。こうなさいと言う気はありません。しかし人は自分のためにならなければ続けることは出来ないと思います。挨拶は相手のためという考え方もある中で今日は自分のためにやるんだという目線で話をさせていただきました。

日常生活において挨拶が難しい場面もあります。いつも会うお友達にきっちり挨拶をすることは逆に人間関係を崩してしまうかもしれません。なのであくまでも自分でご判断ください。目的はより良い自分を作ることです。

以上です。ありがとうございました。

2022年9月4日

第26回岐阜県テコンドー選手権大会にて